将来へ向けて・・・

久留米市では、公共施設を通じた公共サービスを提供し続けるための取組みを進めます。



公共施設の



を減らします。



今後、維持していくことができる公共施設の「量」は、限られています。

既存の公共施設の"統廃合"などにより施設の「量」を減らしていく必要があります。



公共施設の



を維持向上します。 📗 📖



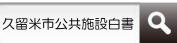
老朽化が進む公共施設の安全性や利便性を確保するため、「質」を適切に維持向 上する取組みを進めなければなりません。

また、今後の少子高齢化を見据え、公共施設を通じて提供してきた市民サービスのあり方を見直す必要があります。

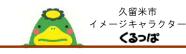
取組みを進めるために・・・

具体的な取組みを進めるため、平成27年度中に、公共施設の「量」の削減と「質」 の維持向上に関する基本的な計画を策定する予定です。

久留米市公共施設白書は、市 役所、総合支所、市民セン ター、市のホームページなど で見ることができます。







発行:久留米市 総合政策部 行財政改革推進課

福岡県久留米市城南町15番地3

電話: 0942-30-9124 77ッ7ス: 0942-30-9703

久留米市公共施設白書



~市民の皆さんに身近な公共施設が大きな課題を抱えています~



公共施設ってどんなもの?

市の公共施設には、市民の皆さんの生活に密着した様々な施設があります。

◆子どものための施設◆ 小学校、中学校、学童保育所 公立保育園、児童センター 子育て支援センター



◆コンサートや講演会等のための施設◆ 市民会館、石橋文化ホール インガットホール





◆集会や学習のための施設◆

えーるピア、サンライフ久留米 勤労青少年ホーム、働く女性の家

勤労青少年ホーム、働く女性の家 🧦 校区コミュニティセンター、図書館 編



◆スポーツをするための施設◆ 荘島体育館、みづま総合体育館 市民温水プール、野球場 弓道場、武道場



◆福祉のための施設◆

総合福祉会館、城島げんきかん コスモすまいる北野

老人いこいの家



◆行政事務所や窓口◆ 市役所、総合支所 市民センター 保健所



◆その他の施設◆

市営住宅、中央卸売市場、競輪場市営駐車場、上津クリーンセンター

浄水場、下水処理場









※上記の施設は、主な施設を愛称や通称で表記しています。

公共施設には、市民の皆様に身近な学校施設、文化施設、福祉施設など様々な施設があります。これら施設の老朽化や少子高齢化の進行により大きな問題が発生しようとしています。

このパンフレットは、公共施設の現状や課題をまとめた「久留米市公共施設白書」を分かりやすくまとめたものです。





多くの施設が老朽化します。

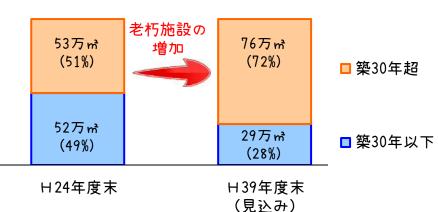
久留米市の公共施設は、高度経済成長期を中心として整備されてきていますので、建設時期にかたよりがあります。

現在(平成24年度末時点)、築30年を超え老朽化が進んだ施設が約半数ですが、15年後の平成 39年度末には、約7割にも増えてしまいます。

老朽化していく施設を安全に利用し続けるためには、施設の改修 や建替えを行っていく必要があり ます。しかし、約7割の施設を集 中的に改修や建替えを行うには、 非常に大きな財政負担となります。

これからも使い続ける施設については、効率的で効果的な改修などの検討が必要です。

公共施設の老朽化の見込み



※全ての施設を築60年で建替えを行うと仮定した場合の見込み

施設が古くなると・・・

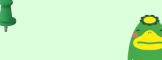
施設が古くなると、安全性や施設利用に支障が生じるようになります。

外壁落下









他の市と比べて久留米市の公共施設は、 多いの? 少ないの?



- ✓ 人口1人当りの公共施設床面積で比較すると、久留米市の公共施設は、全国平均とほぼ同じ程度です。
- ✓ 全国の中核市と比較すると少し多めです。

中核市平均 3.26㎡/人 <

少し多め

久留米市 3.38㎡/人 <u>.</u>

同じ程度

全国平均 3. 42㎡/人

- ✓ ちなみに、久留米市の公共施設は、606施設、床面積合計は105万㎡です。最も多い施設は、小中学校等の学校教育系施設で、全体の約40%、次に市営住宅が全体の約25%です。
- ✓ また、他の市でも公共施設の老朽化等に関する問題に対して様々な取組みを進められています。

施設の使い方が変わっていきます。

久留米市の公共施設には、小中学校、市営住宅、文化ホール、市役所など様々なものがありますが、 市民の皆さんへ様々なサービスを提供するために整備してきました。

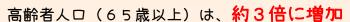
しかし、久留米市の人口や年齢構成は、今、大きく変化しつつあります。

人口は減少し始めていますし、少子高齢化は着実に進行しています。これに伴い、利用のニーズも変わってくるため、公共施設を通じて提供してきた市民サービスのあり方を見直す必要があります。

高齢者は増加



昭和60年から平成47年までの50年間で





子どもは減少

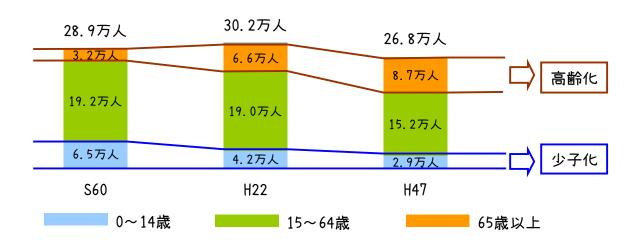


昭和60年から平成47年までの50年間で

年少人口(0~14歳)は、約半分に減少



久留米市の人口の現状と推計



建替えのための費用が大幅に増加します。

久留米市の公共施設は、今後、急速に老朽化 が進みます。

全ての公共施設を今と同じ規模で存続させると仮定すると、改修や建替えのための事業費は、現在の約1.8倍となり、市の財政を圧迫します。限られた予算の中で公共施設だけでなく、道路や橋などの市民生活に密着したインフラを維持整備する必要があります。

建替え等の事業費と共に維持管理費などの 経費削減を進める必要があります。

施設の改修や建替え事業費の現状と推計

